

岩国基地周辺における令和7年度の航空機騒音の状況

令和8年5月
山口県基地関係県市町連絡協議会

令和7年度の岩国基地周辺の航空機騒音の状況を以下のとおり取りまとめた。

1 概況

【月別W値の推移】

- 令和7年度は、例年と同様に米空母艦載機によるFCLP前後の訓練等の影響により、4月から6月のうるささ指数（W値）が高くなった。
また、9月に、25年ぶりに岩国基地で実施されたFCLPと、その後、九州沖で実施されたCQの影響により、9月から10月のW値も高くなった。
- その他の期間においては、例年と比べると、概ね同程度、または下回る水準で推移した。

- ・ 4～6月中旬は、例年と同様のFCLP前後の基地周辺での集中的な訓練や、九州沖の洋上の空母で実施されたCQに伴う夜間離着陸などの影響により、4月から6月のW値が高くなった。
- ・ 8月下旬に空母艦載機が一時帰還した当初は、例年と比べW値は低かったものの、9月には、岩国基地におけるFCLPの実施により、半数近くの測定地点（34地点中16地点）が年度の最高値のW値となったことに加え、10月にはCQが実施されたことから、10月のW値も高くなった。
- ・ その後、艦載機が帰還した12月以降は、帰還前と比べると騒音は増大したが、例年と比べると、概ね下回る水準で推移した。

【過去の年間測定値等との比較】

- 空母艦載機移駐後（平成30年度～令和6年度）との比較

【令和6年度との比較】

- ・ 比較可能な28地点中23地点でW値が増加した。

【平成30年度～令和6年度との比較】

- ・ 比較可能な28地点中、令和7年度が最大値となったのは7地点であった。

- 空母艦載機移駐開始前（平成24～28年度の平均）との比較

- ・ 比較可能な21地点中18地点でW値が増加しており、中でも基地近辺の北西側、西側等で増加した。

2 米軍機の運用等の状況

時 期	主な運用、地元への影響等
4月～5月	F C L P 前の訓練（岩国基地周辺で実施） →騒音の増大
5月19日～30日	F C L P（硫黄島で実施）
6月10日～16日	C Q（九州沖の洋上の空母で実施） →訓練場所への往復に伴う夜間離着陸等による騒音増大
8月27日～ 10月5日頃	空母艦載機が一時帰還
9月17日～25日	岩国基地でのF C L Pの実施 ※訓練・騒音の状況は後段の「岩国基地において実施されたFCLPの状況」のとおり
9月30日～ 10月5日	C Q（九州沖の洋上の空母で実施） →訓練場所への往復に伴う夜間離着陸等による騒音増大
10月16日～ 10月31日	空母艦載機が一時帰還
12月4日頃 ～（現在）	艦載機が岩国に帰還（滞在中）

《空母の横須賀入港日数》

令和7年度の空母の横須賀入港日数は、令和6年度や過去10年平均より多い。

令和5年度	令和6年度	令和7年度	過去10年平均
217日	171日	218日	201日

◇岩国基地において実施されたF C L Pの状況

《訓練の状況》

実施期間：令和7年9月17日～25日の間の7日間（土・日を除く）
 延べ訓練時間：36時間20分（H10年1月のFCLPの訓練時間35時間17分を上回る）
 飛行回数等：1,348回（うちタッチ・アンド・ゴー 592回）

《騒音の状況》

- 騒音測定回数は、3機から8機程度の戦闘機が概ね1分半程度の間隔で離着陸訓練を繰り返したため、訓練時間中（約36時間）の騒音回数が前年9月の月間値の約3倍を記録する地点があるなど、通常時と比較し大幅に増加した。
- 加えて、F C L P 訓練以外の通常の訓練も実施されたこと等から、うるささ指数（W値）の訓練期間中の平均は、岩国市をはじめ、周辺の周防大島町や和木町、広島県大竹市においても、前年同月の平均を大きく上回る状況となった。

◇ F C L P 訓練中の騒音測定回数・W値の状況

測定位置 [測定場所]	騒音測定回数			うるささ指数 (W値)			訓練期間中 最大騒音値
	訓練時間の計 (約36時間) A	前年9月総計 B	増加率 A/B	訓練期間 平均C	前年9月 平均D	増加値 C-D	
岩国市川口町 [民家]	1,431回	(461回)	310%	80.4	(70.3)	+10.1	92.9dB
岩国市旭町 [旭会館]	1,579回	(559回)	282%	81.4	(71.4)	+10.0	93.5dB
岩国市尾津町 [卸売市場]	1,541回	(494回)	312%	81.7	(70.1)	+11.6	101.1dB
岩国市三笠町 [東中学校]	1,327回	(398回)	333%	78.3	(68.3)	+10.0	92.1dB
周防大島町東三浦 [三浦小学校]	164回	(60回)	273%	76.0	(55.7)	+20.3	96.8dB
和木町和木 [集会所]	137回	(94回)	146%	64.0	(52.5)	+11.5	83.1dB
広島県大竹市阿多田 [漁業協同組合]	121回	(200回)	61%	74.3	(64.7)	+9.6	94.1dB

3 航空機騒音の指標・測定体制

- 基地周辺地域の騒音の状況について、航空機騒音の総合的な指標であるW値により把握、比較を行った。
- 基地周辺地域においては、現在、国、県、岩国市が設置した騒音測定器（34地点）により、測定を行っている。
- 新設・移設により各時期の測定地点数は異なっており、令和7年度の測定値（34地点）と比較可能な地点数は以下のとおり。

比較対象		比較可能	
		地点数	うち県内
過去の 測定値	艦載機移駐後各年度（H30～R6年度）	28	23
	艦載機移駐開始前5年平均（H24～28年度）	21	16
	沖合移設前5年平均（H17～21年度）	8	7

4 航空機騒音の状況（年度全体）

（1）月別W値の推移

《月別最高値の地点数（令和7年度）》

（単位：地点）

	4月	5月	6月	7月 ～ 8月	9月	10月 ～ 12月	1月	2月	3月
月別最高値の 測定地点数 (全34地点※)	6	5	3	0	16	0	3	3	0
うち県内 (29地点)	5	5	2	0	14	0	0	3	0
主な地点	旭町 76.9W 川口町 75.8W	三角町 93.4W 尾津町 77.4W	由宇町 有家 73.5W		由宇町 港 71.8W 新港町 71.4W		大竹市 阿多田 73.8W	周防大 島町 久賀 60.1W	

※複数の月で同値の最高値を示した地点があるため、測定地点数の計とは一致しない

《測定地点の月別・年間W値の騒音程度（令和7年度）》

（単位：地点）

各地点の月別・年間W値について、5W幅の各区分に該当する地点数を集計した。

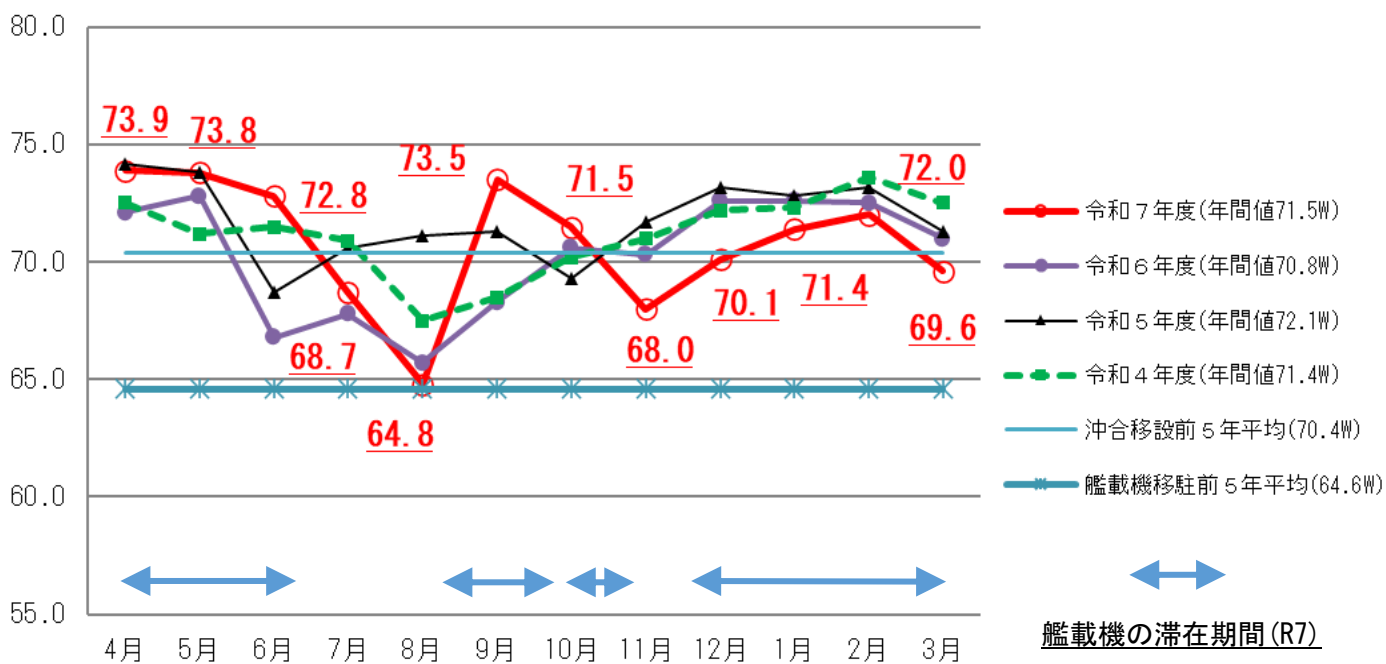
W値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
75～	5	4	2	1	1	4	2	1	1	1	2	1	1
70～74.9	5	7	8	2	0	9	7	2	6	6	6	5	7
65～69.9	6	6	6	7	4	6	7	8	7	5	9	9	7
60～64.9	6	4	6	8	8	4	6	6	5	7	5	6	6
～59.9	12	13	12	16	21	11	12	17	15	15	12	13	13
計	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34

※75W以上…航空機騒音防止法による第1種区域（62Lden）に相当

（通年で75W以上を記録している地点のうち、1地点は滑走路に隣接）

《月別W値の推移の例：岩国市三笠町》

単位：W値



(2) 過去の測定値との比較

① 空母艦載機移駐後（平成30年度～令和6年度）との比較

【令和6年度との比較】

比較可能な28地点中23地点でW値が増加した。

【平成30年度～令和6年度との比較】

比較可能な28地点中、令和7年度が最大値となったのは7地点であった。

② 空母艦載機の移駐開始前5年平均（平成24～28年度）との比較

比較可能な21地点中18地点で増加した。

《移駐開始前5年平均と比較し増減幅が大きい測定地点》

区分	測定地点名（年間W値の増減幅）
増加	基地北西側 岩国市三笠町(+6.9)、岩国市新港町(+5.9)、岩国市川口町(+5.4)
	基地西側（基地近辺） 岩国市門前町(+8.3)、岩国市旭町、車町(+5.5)
	基地北東側（飛行ルート近辺） 廿日市市宮島(+4.5)、大竹市阿多田島(+3.9)
減少	基地南東側 周防大島町浮島(▲1.9)

【参 考】 沖合移設前5年平均（平成17～21年度）との比較

《沖合移設前5年平均と比較し増減幅が大きい測定地点》

区分	測定地点名（年間W値の増減幅）
増加	基地北東側（飛行ルート近辺） 大竹市阿多田島(+4.8)
減少	基地南西側 岩国市由宇町千鳥ヶ丘(▲7.6)
	基地西側（基地近辺） 岩国市車町(▲6.0)、岩国市尾津町(▲4.0)、岩国市旭町(▲3.7)

5 航空機騒音への対応

- 岩国基地周辺の騒音対策については、毎年、国に対し、県による政府要望、山口県基地関係県市町連絡協議会要望を行っている。
- また、令和7年度は岩国基地におけるFCLPについて、訓練実施前には山口県基地関係県市町連絡協議会として、FCLPを岩国基地において実施しないよう要請を行い、訓練実施後には、政府要望時に、地元市町とともに、二度とFCLPを岩国基地で実施しないよう要請を行った。
- 県としては、引き続き、県・地元市町が連携し、状況把握に努めるとともに、国や米側において、要望した取組が進められるよう働きかけていく。

【参 考】

《令和7年度 政府要望（令和7年11月）（抜粋）》

1 米軍岩国基地に係る安心・安全対策の推進

- 飛行運用に係る騒音軽減措置の実施
 - ・ 集中的な飛行訓練について、岩国基地周辺での実施の緩和や訓練場所の分散などの騒音軽減措置の実施
 - ・ CQ（空母着艦資格取得訓練）実施時の運用時間帯への配慮
- 住民の不安解消に向けた措置の実施
 - ・ 住民生活への影響が大きい訓練（外来機によるものを含む）の事前通知
 - ・ 航空機の陸揚げや艦船の寄港の際の、必要性や目的、基地での運用方法等の事前の十分な情報提供
 - ・ 空母艦載機の滞在状況、配備機の機種更新等の運用や配置に関する迅速かつ適切な情報提供
 - ・ FCLP（空母艦載機着陸訓練）の予備施設指定からの除外
- 国による騒音対策の拡充
 - ・ 住宅防音工事の事務所・店舗等への拡大や艦載機滞在時の状況に対応した対象区域の見直しなど、地域の実情に即した防音対策

《岩国基地関連の特別要望（令和7年11月）（抜粋）》

岩国基地における空母艦載機の着陸訓練に関する要請

- 今後、岩国基地において、空母艦載機による激しい騒音被害をもたらすFCLPが二度と実施されることのないよう、米側に求めるとともに、そのためのあらゆる手段を講じること。
- 岩国基地をFCLPの予備施設指定から除外すること。
- 硫黄島において、FCLPが実施できるよう、速やかに硫黄島航空基地の施設の復旧を図ること。
- FCLPの恒常的な訓練施設の早期確保を図るため、馬毛島における施設整備を一層促進すること。

《令和7年度 山口県基地関係県市町連絡協議会要望（令和7年8月）（抜粋）》

I 騒音対策の強化

- 1 岩国基地における航空機騒音等の軽減
 - 飛行運用に係る騒音軽減措置の実施（集中的な飛行訓練の実施の緩和など）等
- 2 住宅防音工事等、騒音対策の充実
 - 住宅防音工事対象の拡充（第1種区域の見直しにおける艦載機滞在時等の騒音状況の反映など）